

科目名	ベーシックレッスン 1							年度	2025
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	西川進・南慶樹・河原レオ・BAN・永田範 正・丸木美花・杉本清隆・大野元毅	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 3種類の楽器について特徴や音色を理解し、楽曲制作に効果的に組み込むスキルを身につける。音を聞いて楽器の名称を識別でき、楽器の特性を生かしたアレンジが理解できるようになる。サウンドクリエイターとしての基礎力を養うためには、基礎レッスンや音楽全般に関する基礎知識の学習が必要なため、レベルに応じたトレーニングを実施し、各種オーディションやコンテストに向けての準備と進行方法を学び、実践する。									
【科目の概要】 サウンドクリエイターとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。レベルにあわせたトレーニングを実施し、各種オーディションやコンテストを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】 A. 3種類の楽器の特徴や音色を把握し、楽曲制作に効果的に取り入れられるようになる。 B. 音を聞いて3種類の楽器の名称がわかるようになる。 C. 3種類の楽器の特性を活かしたアレンジが理解できる。									
【授業の注意点】 この科目は開講曜日により担当教員が異なります。 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 E	一人で1コーラスの楽曲を作成できる		講師の手を借りて1コーラスの楽曲を作成できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
【教科書】 授業内で使用する映像や動画。実演奏。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はループリック評価に基づき、学習した楽器のまとめを14、15回目にて授業内発表を行う。これを60%(知識のほかに感想・思考・自分の作品にどう活かせるかを発表させて評価する) 授業後に提出するレポートや、主に学習に取り組む態度を評価し平常点40%とする。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

